

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、 国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病・内分泌代謝内科および総合内科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 糖尿病患者における爪楊枝を使用した痛覚検査と糖尿病神経障害評価のための各種検査との比較をする観察研究

[研究対象者]

当院糖尿病内分泌代謝内科および総合内科に倫理審査委員会承認後から2029年12月31日の間に糖尿病で入院した方が対象となります。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報等：糖尿病の種類・年齢・性別・既往歴・併存疾患・診察所見・糖尿病合併症・身体計測項目・血液検査・尿検査・画像検査に関する情報をカルテから収集し利用します。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

糖尿病神経障害は糖尿病患者さんで最も多くみられる合併症です。神経障害には様々な種類があり、いくつかの診察や検査で評価されていましたが、これまで痛覚の評価は十分になされていませんでした。温痛覚の検査には、爪楊枝で触って痛覚を確かめる診察法が提唱されていますが、糖尿病神経障害の評価において、この診察法が有用か、という点は十分に検討されていません。

この研究では、糖尿病で入院した患者さんを対象に、爪楊枝による温痛覚評価の結果と、血糖コントロールや様々なパラメータ、さらに糖尿病神経障害の他の評価法に関連がみられるか、という点を検討します。そのため、診療録より、診察所見、身体計測項目・血液検査・尿検査・画像検査・使用薬剤・副作用・病歴などの情報を収集します。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2029年12月31日までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科 医師 足立 洋希

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科 足立 洋希

電話：047-372-3501 (代表) (応対可能時間：平日9時～17時)

作成日： 2024年7月5日 第1.0版